



「学校紹介」

生徒会長 木皿 百音

「自ら動く」を生徒会スローガンに掲げる本校には、自律した生徒が溢れています。最近よく耳にするSDGs。私たち野木二中生はSDGsを学校だけでなく、地域にも広められたら、という強い思いから、世界のことに興味をもち、たくさん活動をしてみました。特に生徒会本部役員では、昨年から手書きのSDGs新聞を発行したり、ウクライナ支援募金を実施したりするなど、今の私たちにできることを考え、実行しています。持続可能な学校づくりを目指して生徒が主体となって活動することで、多様性を認め、尊重し合い、全ての生徒が自分らしく輝ける学校。それが野木第二中学校です。

「選択総合」

副会長 野村 千咲希

野木二中では、総合的な学習の時間に、地域外部講師に

よるコース別活動に取り組んでいます。今年度も二・三年生は週に一時間、ご指導してもらいました。

昨年度に引き続き、和太鼓・レザークラフト・グラウンドゴルフ・漫画・フラワーボックスの五つの講座があり、そこに今年度はダンスの講座が加わりました。そこで身に付けたことを、輝光祭では生徒自ら講師役となつて、他学年に体験してもらいました。どの講座も学んだことを生かし、満足感を得られる体験になったと思います。

「二・中音楽会」

生徒会役員 七五三掛 琢矢

野木第二中学校では、十月五日、三年ぶりに二・中音楽会が実施されました。二・中音楽会は、各学年の中で最も優れた合唱に金賞が贈られます。そして全学年の中で最も優れた合唱をしたクラスに授与されるハーモニー大賞という賞があります。今年度は銅賞が一年二組、銀賞二年三組、金賞が三年一組、二年二組、ハーモニー大賞が三年二組という結果になりました。音楽会練習期間には、歌声が校舎内に響き渡り、その声は今でも忘れません。

「SAC・ユニバーサル回収」

生徒会役員 杉本 健太

本校では、毎週木曜日の朝に、生徒会、中央委員会を中心として、三五〇ミリのアルミ缶の回収と、それ以外のアルミ缶、新聞紙、段ボールを回収するSAC回収を行っています。ビッグアート缶回収はその名の通り、毎年十月に製作されるビッグアートに使用約六千個ものアルミ缶をつるして作るモザイクアートです。SAC回収は、新聞、アルミ缶、段ボールを回収し、換金して生徒会活動費用にあてるといふ活動です。これらは三十二年間、大切に行われてきました。どちらも資源を再利用していて、とても環境にやさしい活動です。

「運動会」

生徒会役員 倉持 真央

運動会は野木二中三大会事の一つで、楽しみにしている生徒も多い行事です。今年度は縦割りの団での活動を通して、学年を超えて交流を深めることができました。私たち野木二中では、「自ら動く」を生徒会スローガンとして掲げているため

運動会でも生徒が自主的に活動する姿が多く見られました。

また、自分の団の活躍はもちろんのこと、他学年、他チームの勇姿を称えたり、敵や味方関係なく声援を送ったりするなど、勝負を超えた「仲間」という意識が表れていました。運動会を通して学校全体に団結力が生まれたと感じています。

「学びのある輝光祭」

副会長 鈴木 翔太

今年度の輝光祭は、世界で注目されているSDGsを学校全体のテーマに設定しました。クラスごとにSDGsのどの目標をターゲットにするかを選定し、理解を深め合い、一人ひとりがSDGsについて、真剣に考え、各クラスで制作した展示はとも学びがあるものになりました。また英語スピーチや、和太鼓、ダンスなど日頃の取り組みを発表する学習発表や、特技等を披露するオンステージなどもあり、友だちの普段見ることができない一面をたくさん見ることができました。

このように、輝光祭は楽しむだけでなく、楽しみながらも学ぶことができる場となりました。SDGsを主とした学びの輪をこれからも広げて

いきます。

「挨拶」

生徒会役員 内堀 花音

本校では今年度、特に挨拶に重点を置いた活動を行ってきました。その活動とは、『NO挨拶Day』や『挨拶向上3Days』、『挨拶向上プロジェクト』の3つです。これらは全て生徒全体の挨拶の向上を図る」ということを目的として行いました。特に印象的だった活動は『NO挨拶Day』です。内容は、挨拶を全くしない日をあえて設けることで、改めて挨拶の大切さを感じてもらおう、というものです。この活動後のアンケートでは改めて挨拶をすることの重要性に気付いたと書いている生徒が多く見受けられました。これからも野木二中生の挨拶向上のために、たくさん活動をやっていきます。

